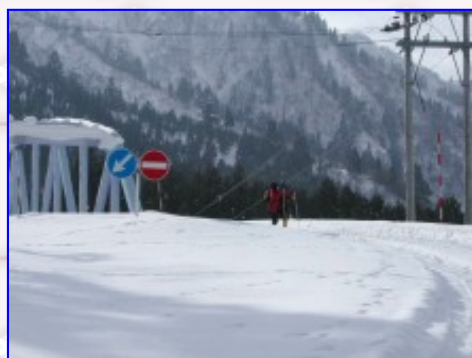
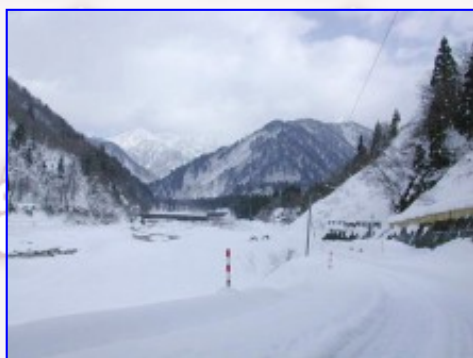
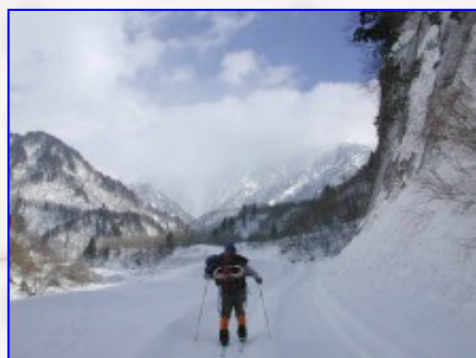


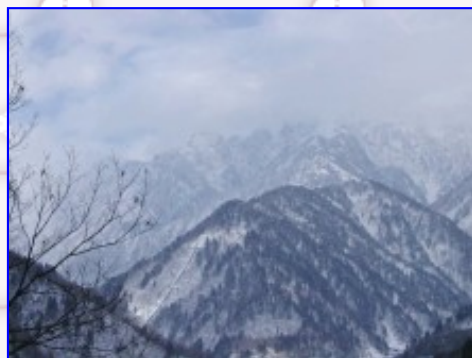
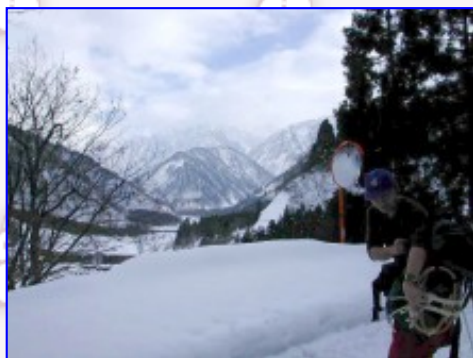
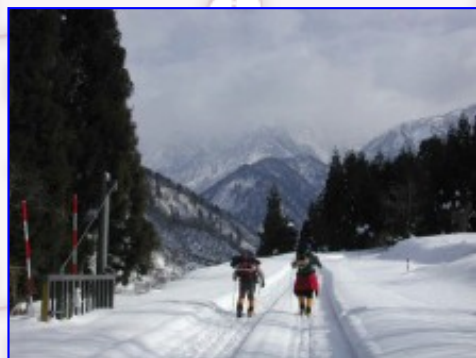
発電所付近も、快適な道が続いている・・・楽勝・楽勝・・・天気も大分回復してきた。
ますます、期待が持てる。



もくもくとひたすら歩く・・・ようやく、馬場島手前の発電所に到着・・・雪が多いときには、雪上車の跡は、発電所手前の簡易トンネルまでなのだが、今年は、ばっちり馬場島までついているらしい。

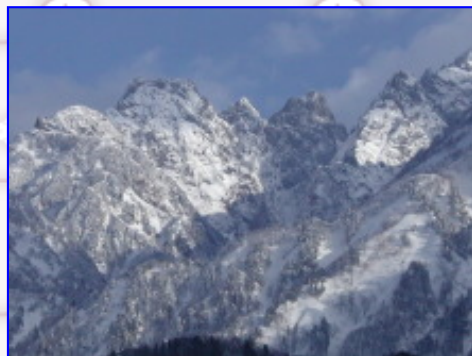
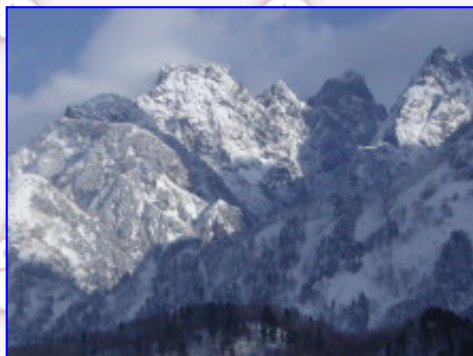
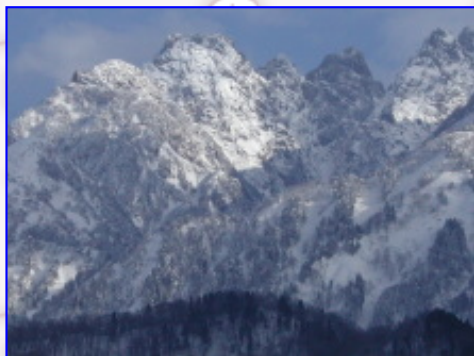


先日は、ここ「剣青少年研修センター」まで、車で来れたのだが、今日はここまで2 Kmの道のり・・・ここまでで、1時間もかかってしまった。・・・ぼちぼち、剣岳が開けてきたような気がする。



ついに、姿を見せた・・・「剣岳」・・・小窓尾根、「マッチ箱のピーク」があまりにきれいなので、何枚か同じような写真を掲載してみた。

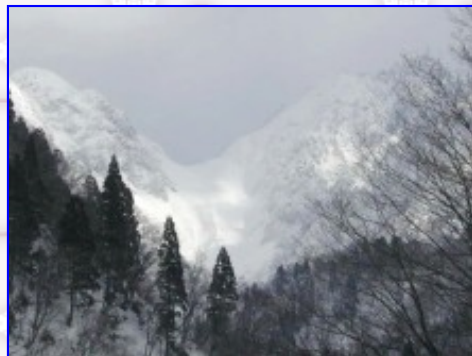
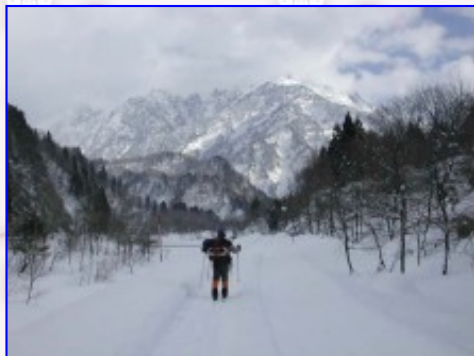




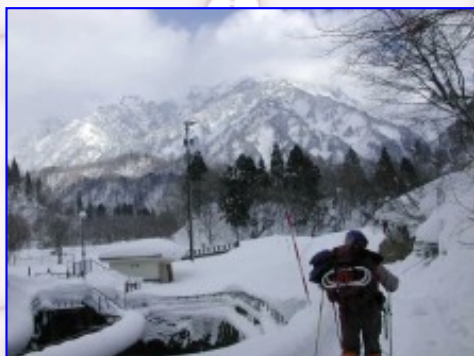
突然、現れたのは、「かもしか」くん・・・まるで、珍客を迎えたように、向こうの方が「我々」を眺めている。



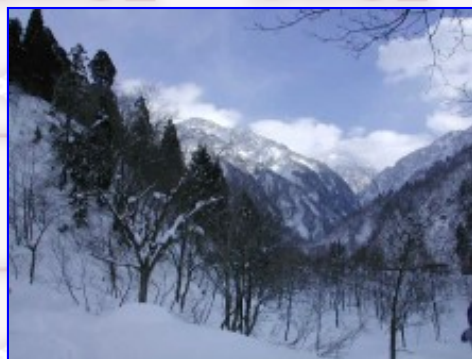
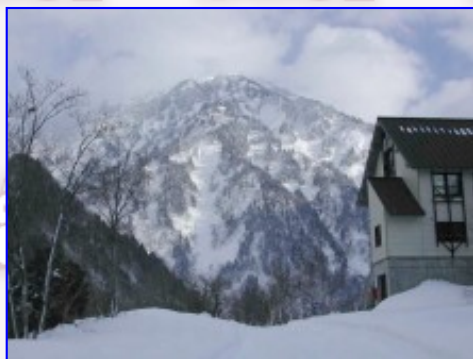
いよいよ、馬場島が近くなった。・・・次第に剣岳北方稜線の山々が開けてきた。



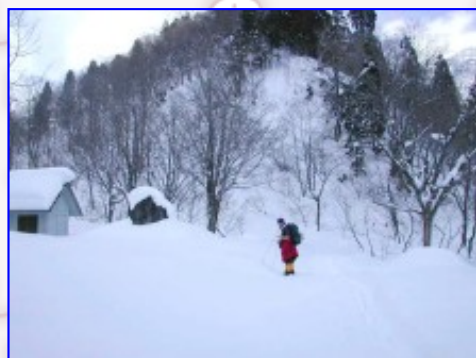
もうすぐ、「馬場島」だ、貯水場を通り抜けると、まもなく「富山県警の馬場島派出所」が見える。



見えてきた、剣岳の早月尾根の稜線に光がさしてきた。遠く、剣御前山の稜線も輝いて見える。



結局、剣岳の登山口の広場まで行くことにした。・・・「試練と憧れ」の前で記念写真。しかし、じっとしていると寒いので、この後、おなががすいたのだが、日が差すところまで降りることにした。



2003年最初の剣岳の展望・・・馬場島へ行く 冬山情報7号 1 / 1 1

2003年の年末年始は予想以上の好天気恵まれて、剣岳への登頂を目指した人は、本当にラッキーだったようだ。しかし、その後の天候は最悪・・・1/5前後は、ついに大雪警報、雪崩注意報が発令されるなど、山にとっては昨年の年末年始のような最悪の天候となった。しかし、年末年始が安定していたので、遭難もなく、無事に終了して、まず一段落です。・・・富山県は、その後はずーっと天気が悪く、毎日が除雪作業で、「山」どころではありませんでした。計画されていた、1/11、1/12の登山の天気予報も悪く、計画が、二転三転したのですが、突然「雨」の予報が回復したので、急遽、当初の予定通り、「馬場島」へ行くことにしました。

今回の「山行」には、初めてのメンバーが参加、大変楽しい「クロスカントリースキー」のツアーになった。

やったー・・・「雨」の予報が、晴れ男の「ヨッサン」によって、この通りの天気、・・・これは、馬場島では、「剣岳」も見ることができに違いない・・・と、期待しながら、さあ、出発。

伊折の部落には、いつものように、富山県警の雪上車が・・・今日のメンバーは3人です。

